

今週のビルマのニュース 2010年2月26日【1008号】

アウンサンスーチー氏の上告、棄却される

・ビルマ最高裁は26日、民主化運動指導者アウンサンスーチー氏が国家防衛法違反罪で有罪判決を受けた件に関し、氏の上告を棄却した（「背景」参照）。氏は、判決の見直しを求める予定（26日共同ほか）。

【背景】アウンサンスーチー氏は現在、自宅軟禁されている。昨年8月に禁固3年の有罪判決を宣告された直後、次の減刑措置を受けた。刑期（3年）の半分を免除、残り半分を執行猶予とする。執行猶予期間（1年半）は自宅に居住し、規則を守り品行方正なら期間満了時に刑を免除する。

・アウンサンスーチー氏が率いる国民民主連盟（NLD）のスポークスマンは「判決により、（軍政が予定している）総選挙が自由・公正とはとても言えないものになることが示された。党首が拘束された状態では、NLDは総選挙について引き続き苦しい立場に立たされる」と述べた（26日イラワディ）。

国連特別報告者、ビルマ訪問を終える

・国連人権理事会でビルマを担当するキンタナ特別報告者が15日から19日までビルマを訪れた。滞在中、キンタナ氏はニャンウィン外相ら軍政高官と会談したほか、複数の刑務所で政治囚と面会し、自宅軟禁解除直後のティンウー国民民主連盟（NLD）副議長とも会談した。アウンサンスーチー氏との面会も希望したが認められず、「非常に残念」だと述べた（19日AFPほか）。

ビルマ軍がカレン避難民の学校を攻撃、少年が死亡

・カレン州内からの情報によれば、同州北部パウン地区で19日朝、ビルマ軍が国内避難民の集落にある学校を砲撃した。15歳の少年が重傷を負い、診療所に運ばれたが死亡、ほかに子ども数人がけがをした。カレン人権グループ（KHRG）は、最近現地周辺でカレン民族解放軍（KNLA）が活動していなかったことから、ビルマ軍の攻撃は民間人の住む集落を故意に狙ったものだと分析している。この事態を受け英国ビルマ・キャンペーンは、ビルマ東部で起きている「人道に対する罪」を調査する委員会の設置が必要だと改めて呼びかけた（24日KHRGほか）。

在日ビルマ人の難民認定者数、前年より減少

・法務省は、2009年の難民認定申請者数は1388人（うちビルマ人568人）、難民認定者数は30人（同

18人）だったと発表した。難民として認められなかったが人道配慮で在留が許可されたのは501人で、難民認定者と合わせた実質的な庇護数は531人（うちビルマ人478人）だった。前年に比べ、ビルマ人の難民認定者数は20人減少した（26日法務省）。

ビルマへの政府開発援助（ODA）約束状況など

新たな発表はなし

注目レポート

・カレン女性機構（KWO）「ビルマ東部紛争地域のカレン民族女性村長たち」（25日発表、英語）
<http://www.karenwomen.org>

ビルマ国軍に殺害される可能性が男性よりも低いという理由で村長にされたカレン民族女性が直面する殺人、レイプ、拷問等の人権侵害に関する報告書。KWOは国連安保理に対し、ビルマでの人道に対する罪についての調査委員会の設置を求める。

イベント情報

・在日ビルマ人共同行動実行委員会 国連事務総長に対しスーチーさんを含むすべての政治囚の釈放と対話の促進を軍政に働きかけるよう要請するアピール行動（国連大学前、22～26日15～16時）

・ビルマの歴史学習会 講師：根本敬（上智大学教授、PFB運営委員）主催：ビルマの歴史を学ぶ会（東京都千代田区ふれあい会館、28日13時半～）

・ロヒンギャ民族集団訴訟（難民不認定処分取消等請求）最終弁論（東京地裁、3月17日10時半～）

もっと詳しい情報は

☆Twitter公式アカウントはこちらです
<http://twitter.com/BurmaInfoJapan>

きょうのビルマのニュース（平日毎日更新）
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165